

個人質問

6月定例会市議会では、三十一人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

行財政・まちづくり

不良不適格業者の排除で

公正、公平な入札制度を

問 政令市移行に向け、不良不適格業者を排除できる入札制度の改革を。

答 毎年、施工能力や技術力を重視した入札制度に向け改正を行ってきた。平成19年度の基本方針では、7月から下請代金未払いの業者に対し指名留保が可能となる。また、20年度からは、市内に営業所を有する全業者に対して計画的に調査を行い、問題があれば、是正するまでの間、指名留保をする予定であり、取り組みを一層強化する。

すべての工事契約

電子入札導入に向けて

問 「入札契約制度改善に関

する意見書」を受け、今後見直しを行う内容は。

答 工事契約について、現在一般競争入札の対象は許容価格十億円以上だが、平成19年7月から五億円以上に、20年度から二千五百万円以上に、21年度にはすべての入札に拡大する。また、19年10月から指名競争入札を郵便入札とした上で、21年度にはすべての入札を電子入札に切り替える予定だ。物品契約と委託契約も同様に、最終的にはすべて一般競争入札の対象とする。ともに、電子入札を導入する。

下中野平井線（旭川工区）

環境影響調査を実施

問 都市計画道路下中野平井線（旭川工区）について①実施予定の環境影響調査の概要

おかやま桃太郎まつり

問 8月3日から開催されるおかやま桃太郎まつりの変更点は。

答 これまで二種類あった踊

市民生活・安全安心

多文化共生の推進指針

本年度中に策定へ

問 平成19年3月に出された外国人市民会議の提言を受け①多文化共生推進の指針を策定する時期は②市役所庁舎内の窓口表記の多言語化を。

答 ①19年5月に設置した多文化共生社会推進会議の議論や年内に設置予定の第二期外国人市民会議等の意見を踏まえ、19年度中に策定したい②18年度に本庁舎一、二階における案内表示の多言語化を実施したが、19年度は窓口表記についても順次実施したい。

消防防災センターの活用で

市民に防災知識等を普及

問 平成20年度開所予定の西

りを「うらじゃおどり」に統一し、分散していた会場を中心市街地に集め、イベントを集中的に実施するなど、一体感やアピール性を高めるとともに、市民・観光客がまちなぎを楽しめる祭りにしたい。

消防署に併設する、消防防災センターの概要は。

答 庁舎三階に防災展示ホールや研修室等を設け、パネル展示、各種体験コーナー、防災グッズの紹介などを通じて、広く市民に防災知識の普及・啓発に努める。また、消防通信指令センターの見学や普通救命講習、AED講習の開催等により、消防・救急に対する一般的理解を深める場として活用したい。

瀬戸地区における

雨水対策事業

問 瀬戸地区における雨水対策としての公共下水道事業のスケジュールは。

答 平成19年度から事業着手予定だ。現在、設計を進めて



旭川大橋から架橋予定地を望む